

Voices



ヴォーリスだより



- 特集 -

患者満足度調査 結果報告

巻頭言

「ウイズコロナ時代を
乗り切るために」

公益財団法人 近江兄弟社
ヴォーリス記念病院
事務長 澤谷 久枝



Vol. 149

2021年3月発行

基本理念

キリスト教の「隣人愛」と「奉仕」の業を、医療を通して実践します。
- 私たちは、基本理念を大切にします。 -



「ウイズコロナ時代を 乗り切るために」



事務長 澤谷 久枝

今、我々は、COVID-19による感染拡大防止と経済活動の維持という2つの側面で闘いを強いられています。いわゆる二律背反の闘いであります。

COVID-19は、飛沫と接触、3密空間における一時的な空気を介し感染します。手指衛生、咳エチケット、飛沫を飛ばさない行動、3密を避けるためのソーシャルディスタンス、ユニバーサルマスク着用(全員がマスク着用)の徹底に尽きます。

一人一人がこの対策を遵守し、潜在意識に落とし込み習慣化することが大切です。当院でも、職員はもとより、ご来院下さる全ての方に、上記の対策徹底の御協力を御願ひしているところです。入館時における健康チェック・院内への立入の制限(玄関にて入館証着用の徹底)・対面による面会の制限(リモートによる面会可)・電話診療による院外処方箋発行の推奨等、院内感染防止に引き続きのご理解ご協力を宜しく御願ひ申し上げます。

さて、一方、経済活動の維持の観点から申しますと、医療介護の業種は典型的な労働集約型業種で、生産要素に占める資本の割合は極めて低く、人の労働力に頼る割合がとても大きい業界です。テレワークの概念は通用しません。現在(執筆している1月16日)、東近江二次医療圏では、近江八幡市立総合医療センター、東近江総合医療センターが新型コロナ感染患者さんの治療に当たって下さっており、当院の役割はその後方支援として、コロナ罹患以外の患者さんをスムーズに受け入れることであります。地域の医療機関が連携しながら、治療を必要とされる患者さんに適切な医療介護を提供して参ります。

そのような中、2021年度介護報酬改定の全容が見えてきました。改定率はプラス0.7%となり、新型コロナウイルス感染対応の「かかり増し経費」分として3月～9月末まで0.7%のうち0.05%が特例的な評価とされています。国は、団塊の世代が全員75歳を迎える2025年問題を重要政策とし、次に2040年問題(団塊のジュニア世代が65歳を迎え社会保障費増加が顕著)のために「全世代社会保障制度」を対策としています。しかし、新型コロナウイルス感染症対策に予算が多く投入された関係で、2021年度の改正は小規模に留まり、次回2024年度に先送りされる可能性が大きいことを想定しておく必要があります。骨子は「感染症や災害への対応力強化」「地域包括ケアシステムの推進」「自立支援・重度化防止の取組推進」「介護人財の確保・介護現場の革新」「制度の安定性・持続可能性の確保」を図るとされています。

2月末には、医療者用ワクチンが入荷、3月末には高齢者向けワクチンの接種開始の報告を受けていますが、そのワクチンや抜本的な治療法が開発・普及して普通のウイルス化するまであと1～3年を要すると言われており、ウイズコロナの時代が続くと覚悟せざるを得ません。

困難を乗り越えられるように、仲間を信じ、志をひとつにして与えられた使命を果たしていきたいと願っています。

『神よ、変えられないことを平静に受け入れる恵みを、変えるべきことを変える勇気を、そして一方から他方を見分ける知恵をわれらにお与えください。』平静の祈りより。

チャプレンだより⑪

見えない線を越えて

チャプレン 中村 信雄

私たちの周りには様々な境界線があります。自分が正しいと思い込み、違いを赦せない人たちによって次々と見えない線が生まれます。その線をもとに人々は分断され、力強い者が弱い者を傷つけます。

そのような線を感じたとき、よく聴く歌があります。沢知恵さんの『The Line』という歌です。存在をかけた声で「境界線はどこ？」と問いかけています。愛と憎しみ、北と南、男の人と女の人、あなたと私、戦争と平和、大人と子ども、黒と白、いのちと死…。彼女は歌います。「線がある、見えない線が。この世界のいたる所に、日々の暮らしの中に。その線を越えるのはあなた。ためしてみたら簡単なことよ、境界線はあなた自身なのだから。」

人々を分断する境界線は聖書の時代にもありました。イエス・キリストは、その見えない線を越えて神様の愛を伝えていたのです。神様の愛に触れた人たちは、キリストに倣って線を越え始めました。勇気を出して越えた先にあるのが神の国です。私たちも神様の愛に押し出されてその線を越えていきたいと思います。



部署紹介

栄養科

管理栄養士 徳岡 貴美

栄養科は病状・機能回復や健康増進を目指して、栄養・食事面から患者様をサポートする役割を担っています。

その役割は大きく2つに分けられ、一つ目は入院患者様や施設ご利用者様の病状や状態に合わせた食事の提供です。病院食をはじめ関連施設の老健センター、看護小規模多機能型居宅介護事業所、院内保育施設の食事提供も請け負っており、1日合計約660食を100年前と変わらぬ直営で作成しています。食事内容も治療食のみならず、摂食・嚥下機能に合わせた形態、食思低下の方には個人の嗜好に合わせ個別対応食、一年を通じての行事食、桜と紅葉の時期は幕の内弁当を作成し、雰囲気味わっていただいています。

二つ目はチーム医療による栄養管理。治療効果に繋がるよう努めると共に、患者様に寄り添うことも心がけています。また生活習慣病などに対する栄養指導、地域の方の健康維持増進に向けた講座など知識の啓蒙にも携わっています。

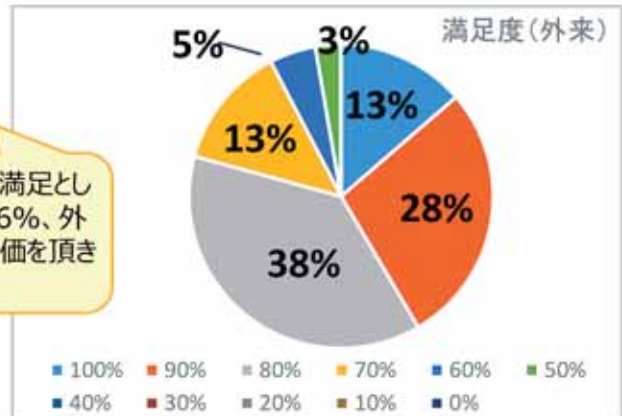


特集

患者満足度調査 結果報告

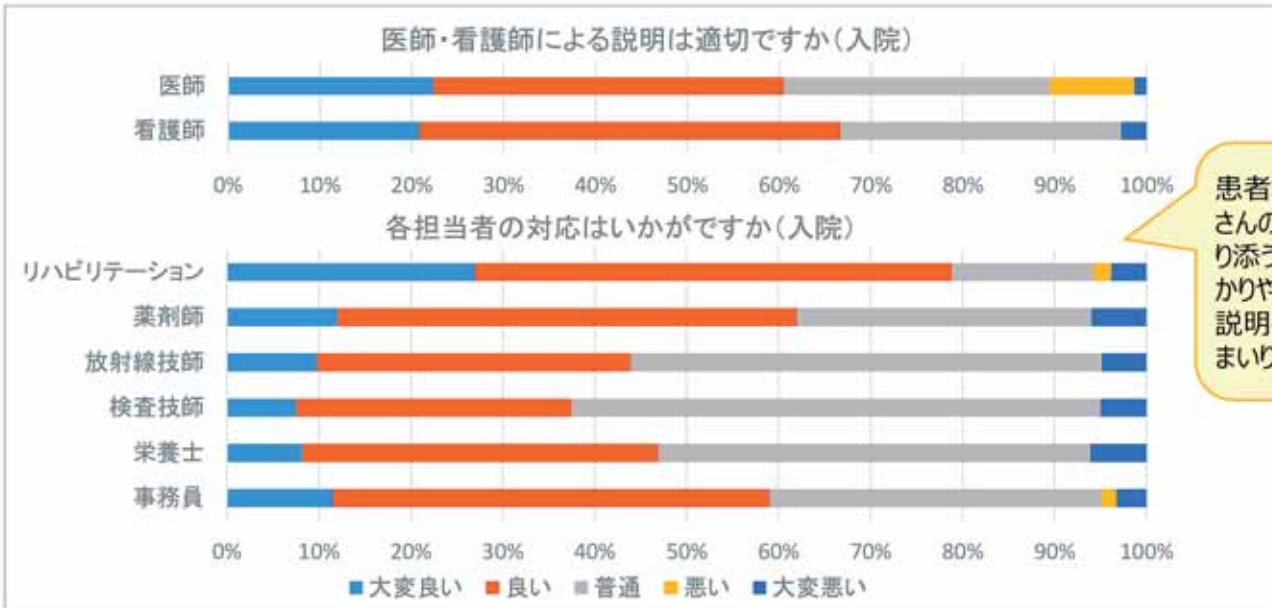
質改善委員会 中村 信雄 / 木下 ゆかり

当院では、患者さん・ご家族からご意見をいただき、医療サービスの質向上を目的に、2020年10月13日～19日にアンケート調査を実施致しました。結果の一部を報告致します。



70%以上を満足として、入院は86%、外来は92%の評価を頂きました。

60%近い方より、「大変良い・良い」の評価を頂きました。毎年、全職員対象に個人情報・人権教育について研修を行っております。引き続き今後も取り組んでまいります。



患者さん、ご家族さんの気持ちに寄り添う対応や、分かりやすい丁寧な説明を心掛けてまいります。

| | 入院 | 外来 |
|-----------|--|--|
| 環境に対するご意見 | <ul style="list-style-type: none"> 入院部屋の外からの光、明るさが少ない 窓に汚れ、クモの巣、虫の死骸があった 建屋が古い | <ul style="list-style-type: none"> 駐車場の出入り口の凹凸、台数不足 待合室が暗い、夏場でも寒い トイレが狭い、物置が必要、検尿検査の導線が悪い |
| 課題と感ずる評価 | <ul style="list-style-type: none"> スタッフ間の連絡事項の連携がうまくできていない 担当看護師がはっきりしない 職員の作法や言葉使いが気になる | <ul style="list-style-type: none"> 診察の待ち時間が長い、診察時間を長くしてほしい もう少し患者に寄り添ってほしい 受付の対応が良くない |
| 良い評価 | <ul style="list-style-type: none"> 要望に出来る限り寄り添う姿勢を見せて下さった 親切、丁寧に対応して下さい大変ありがたい コロナ対応において職員が最善を尽くされている | <ul style="list-style-type: none"> 各科の連絡がスムーズでありがたい 親切 コロナ対応がきちんとされている |

皆さまから頂いた貴重なご意見は、質改善委員会で検討し、改善につなげてまいります。今後も患者さんの満足度、医療サービス全体の質向上に全職員で取り組んでまいります。ご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。尚、すべての結果は、院内に掲示致します。



生活習慣病について考えよう!

看護師 吉崎 直美

～ Part 1 暮らしを整える ～

「生活習慣病」の名のごとく、毎日の生活リズムを整える事が様々な体調に影響します。

人間の体の内分泌機能は、毎日の日常行動に合わせて、予め分泌されることが知られており、夜更かしや食事時間のばらつきは、血圧・血糖値・睡眠のリズムを乱すきっかけになります。お仕事やお付き合いなど様々な日がありますが、毎日同じ時間にトイレへ行く習慣をつけ、起きた時にコップ一杯の水やお茶を飲むことはお通じのリズムを整えることになり、体重のコントロールにも良い影響があります。

そして日中に十分に運動をすると、寝付きがよく、ぐっすり眠れます。睡眠は体の疲れを取るだけでなく、むしろ睡眠時間の80%は、脳の疲れを取ることが知られています。最低6時間、出来れば7～8時間ぐっすり眠って下さい。でも眠れないときには眠れないことを気にしない。だめならあまりがんばりすぎないで、かかりつけの医師に相談して薬を使うことも一つの手段です。

こうしてできるだけ起床、洗顔、食事、入浴、就寝時間を一律にする様に心がける事が、体調を整える手立てとなります。休日も生活リズムを一定にして頂くことがお勧めです。



病院看護師による退院後訪問

病・病診連携課 看護師 小磯早紀

当院では2018年の診療報酬改定に伴い導入された、病院看護師による【退院後訪問】を実施しています。

医療処置や体調管理を主に行う訪問看護師とは役割が異なり、医療ニーズの高い患者様や認知症がある患者様が退院された後、安心・安全に在宅療養へ移行できるよう、退院直後（1ヵ月以内）に病院看護師が自宅へ訪問します。

訪問時には在宅生活での困りごとがないか、入院中にお伝えした指導内容が継続できているか等を確認し、必要に応じて再度ご指導させていただきます。主治医への報告、訪問看護師との情報共有、ケアマネージャーとサービス内容の確認など連携を図りながら、病院から在宅へスムーズに「繋げる」ことができるよう心掛けています。また、訪問看護師に同行し、自宅で医療処置内容の伝達やご家族指導も一緒に行うこともあります。

入院中はお手伝いが必要だった部分が、退院後はご自身でできるようになっておられたり、患者様やご家族の笑顔や元気なお姿を見せていただくと、私たちもパワーを頂いています。

今後も退院後訪問を積極的に実践し、入院されていた病棟看護師へフィードバックしながら、看護の質向上にも繋げていきたいと思っております。



『ピアリズム体操』が奨励賞を受賞

メディカルフィットネスセンターヴォーリス (MFCV) 久保 大志

コロナ禍でも多くの人たちに体操をしてもらいたいという思いから『ピアリズム体操』を製作しました。

MFCVの久保大志（スポーツトレーナー）、田辺彰太（介護福祉士）、老健センターの田中孝史（作業療法士・作曲）の3名でアイデアを出し合い、「脳・筋肉・心に効く」をコンセプトに製作した約15分間の体操プログラムです。

体操の内容は音楽に合わせて ①身体を大きく動かす体操 ②少し複雑に足指足首を動かす体操 ③ストレッチで身体を気持ち良く伸ばす体操です。

この取り組みを一般社団法人 日本音楽健康協会「音健アワード2020」に応募したところ**奨励賞**を受賞いたしました。

今後、様々な場所で「ピアリズム体操」を沢山の方々に体験してもらいたいと考えています。



管理栄養士ようちゃん
おススメ！

骨粗しょう症の予防

最近では若い世代でも過激なダイエットなどによる栄養不足で、骨量が足りない方が増えてきています。骨量が減った状態で高齢になり、骨折するとそれが引き金となって寝たきりになってしまうことも多く、問題視されています。今回は骨粗しょう症の予防について紹介します。

予防ポイント その1 カルシウムをマグネシウムとビタミンD・Kでサポート！！

骨の主成分はカルシウムです。カルシウムは吸収率が悪く、これを良くするには、骨に沈着させるのを手伝うマグネシウムやビタミンD・Kも合わせて摂ることが重要です。下記にそれぞれが豊富に含まれる食品を挙げますので、合わせて摂るようにすると効果的です。

- ・カルシウム → 牛乳やヨーグルトなどの乳製品や小魚 など
- ・ビタミンD → 鮭、青魚などの魚類 など
- ・ビタミンK・マグネシウム → 納豆 など



予防ポイント その2 リンの摂りすぎに注意！！

リンもカルシウムと同様に、骨や歯を形成するミネラルの一つです。リンの摂りすぎはカルシウムの吸収を妨げます。リンは魚介類、穀類、卵、乳類、豆類などに多く含まれますが、一般的には摂りすぎにはなりにくいミネラルです。摂りすぎの原因になりやすいのは「加工食品」の多用です。加工食品には食品添加物として、各種リン酸塩が多く使われており、加工食品の使用が多い方は注意が必要です。

おすすめ！！ ふわふわ卵の納豆しらす丼



【材料-二人分-】

- シラス干し 大さじ5杯
- 納豆 2パック
- 卵 2個
- ネギ 少々
- 醤油 少々
- 御飯 2杯分

卵白をしっかりと混ぜるのがフワフワのポイントです。

【作り方】

- ①卵は卵白と卵黄に分けて納豆と卵白をよく混ぜる。
- ②御飯をよそい①の納豆としらすをのせる。
更に中央に卵黄をのせて、ネギを全体に散らせる。

医師紹介

循環器科

馬淵 尚子 (まぶち なおこ)

【経歴】平成5年 滋賀医科大学 卒業 : 第一内科 (現 循環器内科) 入局
滋賀医科大学博士課程修了 医学博士



【インタビュー】

Q 現在の診療内容について

A 主に医療療養型病棟の入院診療と心臓超音波検査、健診を担当しています。

Q 患者さんに対して心掛けていること

A 病状だけでなく、生活歴や人生観、周囲の方々の思いにも配慮して診療にあたるよう心掛けています。

Q 専門職として、患者さん自身の健康について気を付けてほしいこと

A 食事や生活習慣に気を付けるといった、日々の心がけが大切です。主治医等専門家のお話をよく聞いて、無理せず気長に実践して頂きたいと思います。

Q 健康維持をするために取り組んでいること

A この歳になり足腰が痛むことが増えたのですが、運動のためと自分に言い聞かせ、毎日愛犬の散歩を頑張っています。

Q 患者さんへ一言

A 何かと不安の多い昨今ではありますが、医療を通して微力ながらも皆さんのお役に立てるよう精進して参ります。どうぞよろしくお願ひ致します

ほっとひといきコーナー

ウォーリス 昆虫記

「玉虫～！！よもや よもやだ！！」

医師 深見 方博

私がこの病院に赴任したのは平成29年の9月でした。山と田んぼに囲まれた環境は、小学生の頃の実家がまさに田んぼだらけで、カエルの声がうるさくて眠れないという状況でしたので、非常に懐かしい思いになりました。そして医局の西側の窓からなんと、玉虫が飛んでいるのが見えた時には、物心ついた頃から生き物、特に昆虫が大好きだった私（小学生の頃の愛読書はファーブル昆虫記とシートン動物記）にとっては「久々の感激」でありました。さらに夏にはクワガタをはじめ様々な昆虫に出会えるようになり、長崎先生や瀧先生など虫好きおじさん達にも恵まれ、さらには昨年赴任された前田副院長とは奥様とともに朽木まで出かけてきました。またチャペルの奥にはクヌギ林があり、カナブンが群がっていて、これもまた「感激！感動！」去年まで知らなかったのが悔やまれました。

コロナが収まる気配がなく、いつ感染者が入ってきてもおかしくない状況で、ストレスは赴任後最大といえる日常の中、このように心が躍ることがあることに感謝。さあ今年も楽しみですね～！



昨年、朽木で見つけた
アゲハモドキ

飼育している
ミヤマクワガタ



玉虫



病院からの お知らせ

◆糖尿病及び生活習慣病教室のお知らせ

シリーズで偶数月に糖尿病、生活習慣病に関して、病気の知識や治療法に関するの教室を開きます。詳しくは管理栄養士が外来看護師あるいは担当医師にお尋ねください。

日時 2021年4月22日(木) 11:30~12:30

場所 新館研修室(病院内) (※時間変更の場合あり)

講師 薬剤師

※主治医の指示のもとに参加できますが、あらかじめお申込みが必要です。
※新型コロナウイルス感染予防の観点から、食事は当面の間中止致します。



近江八幡市介護予防拠点事業

◆2021年度 ヴォーリス介護予防教室のご案内

テーマ：『「見る」「聞く」「話す」「食べる」「寝る」力の衰え予防(仮)』(年間5回・木曜日開催)

| 回数 | 月日 | 担当 | 内容(仮) | 講師予定 |
|----|-------|-------------|----------------------------------|---------------------------------|
| 1 | 5/20 | ヴォーリス老健センター | 「脳トレして脳を活性化しましょう！」 | ヴォーリス老健センター 支援相談員 林 誠氏 |
| 2 | 7/22 | 在宅サービス部門 | 「ハーブを育てましょう(仮)」 | ホームヘルプステーションヴォーリス 係長 北村 恵美子氏 |
| 3 | 9/16 | ヴォーリス記念病院 | 「高齢者の睡眠の特徴 ～すっきりと目覚めるために～(仮)」 | ヴォーリス記念病院 医師 深見 方博氏 |
| 4 | 11/25 | ヴォーリス老健センター | 「折り紙で季節を感じましょう」 | ヴォーリス老健センター 支援相談員 迫田 修希氏 |
| 5 | 2/24 | ヴォーリス記念病院 | 「未定」 | ヴォーリス記念病院 言語聴覚士 未定 |

－ 日程、講師など変更の場合もございます。最新情報をホームページでご確認ください。－

- ①対象者 おおむね65歳以上の方 定員：15名
※新型コロナウイルス感染症に対する感染予防に配慮して人数制限をしております。
- ②場所 アンドリュース記念館(旧Y M C A会館) ※近江八幡市為心町中31番地(近江八幡教会の隣)
- ③開催時間 14:00 ~ 16:00
- ④参加費 無料
- ⑤申し込み 往復ハガキで ①住所 ②氏名 ③年齢 ④連絡用電話番号 を記入の上
〒523-0806 近江八幡市北之庄町492 ヴォーリス記念病院内
介護予防教室係 まで (単月の申し込みも受付します。)



【お問い合わせ】 ホームヘルプステーション ヴォーリス
担当 中上 (TEL: 0748-32-7130 / FAX: 0748-36-5458) まで

地域療養支援部受付

患者様やご家族様に住み慣れた生活の場で、安心して療養し生活を送って頂けるようサポートします！

- ・健康保険、介護保険等の社会保障制度について
- ・在宅での生活、介護についての不安
- ・施設の入所や利用について
- ・地域の病院、開業医の皆様からの受診、入院依頼

お気軽にご相談ください。 ※部屋は正面玄関入って左側でございます。

TEL (0748) 32-5221 / FAX (0748) 36-5412

【人間ドック、健診についてのお問い合わせ】

医事課2番窓口にお越し頂くか、お電話(0748-36-5467)下さい。

※受付時間：月～土曜日 13:00～17:00(祝祭日は除く)

〒523-8523 滋賀県近江八幡市北之庄町492

電話：0748-32-5211(代表)

FAX：0748-32-2152(代表)

*シャトル(無料送迎)バスあります。

●編集後記●

今月の表紙は、病院敷地内にあるハクモクレン(白木蓮)。毎年3月になると、たまごのような白い花を咲かせてくれます。花言葉は「高潔な心」「慈悲」。花を目にしては、誠実で、謙虚で、周りへの思いやりのある高貴な人間になりたいと思います。

【編集・発行】 公益財団法人 近江兄弟社 ヴォーリス記念病院 企画涉外課

公益財団法人 近江兄弟社 ヴォーリス記念病院